

(一社)まつもとユニバーサルデザイン研究会
2024年度 事業計画(案)

1. ユニバーサルデザインによる街づくりの推進

ユニバーサルデザインによる街づくりの多角的な推進を図るため2021年に研究会内に3つの委員会を構成し活動を深めた。2024年度、3年間の活動を取りまとめ具体的な活動成果を市民・企業・行政に提案する。

- (1) まちづくり委員会(担当:上村副会長、PTリーダー:大坪委員、副川上委員)
今までの活動(まつもとユニバーサルデザイン研究会、市政、まつもと市民会議等)を確認し、現市政が目指すまちづくりにおけるユニバーサルデザインの位置付けについて発信する。
【テーマ1】サード・プレイス/人が繋がる空間の重要性について認識した為、ユニバーサル観点からまちづくりへの関わりを追求する。
【テーマ2】公園および歩道において、ひとやすみできる空間は多様性の中で誰に対してもやさしいまちづくりに繋がる。ユニバーサルデザイン及びSDGsの観点から、UDアイデアコンクール入賞作品のベンチの設置に向け具体的に進めていく。
【テーマ3】まちづくりに対しての意識を高めるとともに知見を深めるよう、有識者の講演を企画し、会員や市民への発信を行う。
- (2) SDG's 推進委員会(担当:渡邊アドバイザー、PTリーダー:窪田委員、副織田委員)
当初掲げたUD研究会がSDG'sに取り組む団体として、長野県への登録を目指す事には拘らず、能登半島地震でまたしても問題となった避難所の様々な問題を課題として、松本市の公民館や指定避難所の改修や新築に対し、持つべき機能について「松本モデル」としてまとめ、松本市へ提言を目指す。
【テーマ1】災害時に下水道が寸断されても使用出来る水洗トイレ
【テーマ2】災害時に上水道が寸断されても飲料水が確保されている避難所
【テーマ3】発災後、1週間以内に設置可能なシャワー(入浴)施設設置方法
【テーマ4】電線が寸断されても電気が使える避難所
【テーマ5】地中熱を利用した節電、CO2削減効果の高い空調を備えた避難所
- (3) UD商品推進委員会(担当:北原副会長、PTリーダー:上條委員、副上嶋委員)
2021年度から活動した結果、実際に「商品を開発」するためには、イメージやアイデアの抽出まではたどりつけても、開発行為を行うには断念せざるを得なかった。そこで「開発」から「推進」へと委員会の名称を変更し、会員自社製品のUD化推進、松本の居住におけるまちづくりUDの推進という視点で活動を進めてきた。